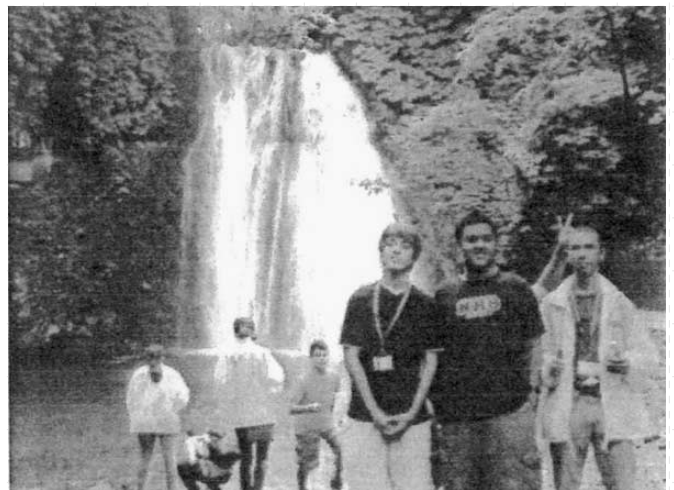


絵：藤田 泉輝くん



白瀑神社にて（提供：日本国際協力センター）

1周年を迎える八峰白神ジオパーク

八峰白神ジオパークが日本ジオパーク委員会より認定を受けてから早1年になるうとしています。ジオパークを楽しもうとこれまでたくさんの方々八峰町を訪れています。ジオパークで過ごした感想がたくさん届けられています。その一部を紹介します。

●MNさん（出版社）

ジオパークという視点に目が開かれました。地球の成り立ちがどのように目の前に歴然としてあることにびっくり仰天です。それに民話などにこのことが擬人化されたり、人格が与えられたりして物語になっっていることにも思い当たって、先人の明に深く感動した次第です。

名だたる五能線沿線の海と花々に目くるめく思いでした。

●藤田泉輝くん（八森小学校6年）

今年初めてのジオパークコースでは、友達といっしょに山の頂からころがってきた石を探すために川に行きました。ようがが固まってできた石もあつたし、石の中が日光で光り輝いていた石がありました。ぼくは特に光り輝いていた石を何個も持ってきました。ぼくはよくにとってはすごい大発見だったので、次のこの活動では、今日拾ってきた石よりもっとめずらしい石を見つきたいです。

（家からのコメント）

白神山地に色々な石があるんだね。宝の山だね。次はどんな石を見つけることができるか、宝探しみたいで、みんなとても楽しそう。

●女子高校生（アメリカ、テキサス州）

来日前の日本のイメージは混雑した街と技術だけの国というものでした。実際は自然豊かな美しい国です。特に秋田県の山岳地帯の自然と人々の優しく思いやり

のある心には感動しました。素晴らしい体験でした。再来日し、ホストファミリー（大館で民泊）にも再会したいと思います。今はアメリカに帰りたくないです。

ご3方の感想を拝読し、ジオパークを立ち上げて心から良かったと思えました。まずテキサスの女子高生の文からは、日本という国、そして八峰町という町が自然豊かな国・町であったのだと思知らされました。その豊かな自然を支えている地質（ジオ）が重要な意味を持っていることに、今まで以上に深く理解しました。

次に出版社の方についてですが、今回は3回目のご来町でした。過去2回ではジオについてほとんど触れていなく、今回初めてジオパークをご紹介します。ガイド中、とても喜ばれていてその思いを「目眩めく思い」と表現されているのでした。

このような「目眩めく思い」を感じるひとは日本にただ一人しかいないとは思われません。今後たくさんの方々が八峰白神ジオパークを訪れるにちがいありません。そして、それらの方々にも同様な思いを体感していただくために、私もジオパークに関わる人たちは協力し合って、ますます楽しいジオパークにしていきたいと考えています。

最後に一言、これからは八峰白神ジオパークを推進する後継者育成の努力は欠かせません。藤田くんの「すごい大発見」の心を大切に見守り、保護者のコメントにある「みんなとても楽しそう」という応援のもと「すごい大発見」の心の輪を友達に広げていければ、きつとりつばな後継者が誕生するものと確信しております。

八峰白神ジオパーク推進協議会 会長 工藤 英美

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427